

# 令和6年8月定例会会議録

(令和6年8月27日)

八代市教育委員会

## 八代市教育委員会 8 月定例会会議録

- 【開催日】 令和6年8月27日（火）
- 【場所】 八代市役所4階 403会議室
- 【出席者】 中 勇 二 教育長  
渡 邊 裕 一 教育委員  
早 田 蛭 教育委員  
澤 村 互 寛 教育委員  
丸 山 智 子 教育委員
- 【出席職員】 田 中 智 樹 教育部長  
下 津 恵 美 教育部次長  
松 本 康 祐 教育部次長  
松 本 豊 教育政策課長  
加 賀 真 一 学校教育課長  
兒 嶋 頭 伸 学校教育課審議員  
稲 本 健 一 教育部理事兼教育施設課長  
泉 宜 孝 生涯学習課長  
高 嶋 宏 幸 教育サポートセンター所長  
上 角 愛美子 博物館未来の森ミュージアム副館長  
米 崎 寿 一 文化振興課長  
森 田 克 彦 こども未来課長兼こども家庭センター長  
永 野 祐 樹 学校教育課指導係指導主事  
岩 本 隆 宏 学校教育課指導係指導主事  
田 島 賢 史 学校教育課教育支援係指導主事
- 【事務局】 萩 本 誠 子 教育政策課教育政策係長  
浦 本 美代子 教育政策課参事
- 【審議事項】 <議案案件>  
① 八市教委議第21号 八代市立図書館協議会委員の任命について  
② 八市教委議第22号 八代市立幼稚園再編基本計画（案）について
- <協議案件>  
① 協議第4号 令和6年度教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価について
- <報告案件>  
① 報告第15号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果

について

1. 開会 (午前9時00分 開会)
2. 会議録の承認 令和6年6月定例会
3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告。

4. 議題

中教育長 報告第15号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果については、適切な審議環境を確保する必要があることから、秘密会にすることを提案する。

教育委員 全員異議なし

中教育長 報告第15号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果については、八代市教育委員会会議規則第5条に基づき秘密会とする。

中教育長 本日の議事の進め方について、協議第4号 令和6年度教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価については、時間を要するため、まず、八市教委議第21号 八代市立図書館協議会委員の任命について及び八市教委議第22号 八代市立幼稚園再編基本計画(案)の審議後、議事を一旦中断し、各課かい及び事務局からの連絡事項に移る。そして、議事に戻り、協議第4号 令和6年度教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価について協議を行う。最後に、秘密会と決した報告第15号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果についての審議を行いたい。

〈八市教委議第21号〉 八代市立図書館協議会委員の任命について

泉生涯学習課長 現在委嘱している八代市立図書館協議会委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱する。任期は、令和6年10月1日から令和8年9月30日までとする。

質問等なし

【八市教委議第21号 承認】

〈八市教委議第22号〉八代市立幼稚園再編基本計画（案）について

加賀学校教育課長 庁議でいただいたご意見を踏まえ修正を行い、文教福祉委員会に報告を行った。資料により説明

中教育長 2点お願いをしたい。議案として送付した資料から、庁議を経て修正があった。どのような経緯で修正に至ったのか。また、議会に説明をしているので、議会の中でどのような質問があり、それに対してどのような回答をしたのか紹介してほしい。

児嶋学校教育課審議員 庁議を経て、2点修正を行った。1点目は、案2ページの「2再編に向けての基本的な考え方」と3ページの「3再編の方向性について」は、非常に似通っているため、この点がはっきり分かるようにしてほしい。特に、基本方針を受けて、「2再編に向けての基本的な考え方」が示されているということを計画の中で示してほしいというご意見をいただいたので、「2再編に向けての基本的な考え方」に「八代市立幼稚園再編基本方針」より4つの考え方を示すことを明記した。もう1点は、認定こども園の設立についてである。「2再編に向けての基本的な考え方」の市長部局との連携のところで、「認定こども園の必要性を含めて検討していきます」と記載しているが、「3再編の方向性について」では、「公立の認定こども園設立の必要性は低い」と記載しているので、もう少し丁寧な書き方をというご意見をいただいた。こども未来課とは、八代市の修学前教育を市全体でどのように充実させていくかということ協定の中で、認定こども園の設立についても検討してきた。現段階で認定こども園の設立の必要性は低い。幼稚園と保育園が一つの施設の中で教育をするという必要性は低い。今後も幼稚園、保育園の連携はしっかりとって、八代市の子供たちが公立、私立、どの幼稚園、どの保育園にいても可能性を伸ばしていけるように教育を充実させていく、このことはしっかりと連携を図っていくという書き方に修正した。

文教福祉委員会では、いくつか質問を受けた。人口減少の見通しや、幼稚園の先生方は6園が2園になった場合にならぬのか、パブリックコメントや保護者アンケートの結果はどうだったか、子育て支援コーディネーターとはどのような役割なのかというものだった。現時点での職員の方々の見通し、パブリックコメント、保護者アンケートでは8割から9割の方々に賛

成を得ていること、子育て支援コーディネーターの役割について説明をしたところである。

意見としては、基本計画の期間を可能であれば定めてほしいという意見をいただいた。部で検討し、今後、園児数がどのようになるかははっきりするのは困難であるため、中・長期的な見通しのところに記載しているが、充足率等を見据えて今後については検討するという当初の形にすることとした。また、6園を2園にした後の評価、検証を行ってほしい、幼稚園の職員の先生方に丁寧な説明をしてほしい、子育て支援コーディネーターについては、福祉部門にもコーディネーターがいらっしゃるの、関係機関としっかり連携を図ってほしいという意見をいただいたので、それらを踏まえてしっかり行っていきたい。

中教育長 前回から以上のような経緯で今回の案となっている。

早田教育委員 幼稚園の給食は、統合した給食センターで作ることになるのか。

松本教育政策課長 現在の6つの給食センターのうち、今回、統合に含まれない給食センターがある。中部学校給食センターは、(仮称)新南部学校給食センターには統合されない。ここが太田郷幼稚園、太田郷小学校、第二中学校などに配送を行っている。令和8年度に再編後、令和9年度の2学期から新センターからの配送となるが、(仮称)八代市立東部幼稚園は中部学校給食センターから配送することになる。松高幼稚園については、西部学校給食センターが配送しているが、(仮称)新南部学校給食センターに統合されるので、(仮称)八代市立西部幼稚園は新センターからの配送になる。

早田教育委員 新しい学校給食センターができるということは、効率化が図れ、一緒に給食を作られるということなので、どのように食育や特別な支援ができるのかと思ったところである。

松本教育政策課長 小・中学校においては、各学校に栄養教諭が配属されており、給食センターごとに担当がいる。中部学校給食センターについては、二中と太田郷小の栄養教諭が各学校で食育相談等を行っている。

加賀学校教育課長 幼稚園においても食育は大事なものと考えている。栄養教諭等に食育指導をしてもらう際には、給食センターや学校の所属

長に派遣依頼をし、実際に幼稚園においても食育を進める形になるのではないかと考えている。

中教育長

私立の幼稚園、保育園は副食のみの提供となるが、公立幼稚園は完全給食であり、食育を進めやすい体制にあるため、さらに充実させていこうということである。

渡邊教育委員

計画が出来上がることになるが、幼稚園の先生方はいろいろな疑問があるかと思う。きめ細かな説明、協議をしてほしい。

令和7年度の秋に園児の募集をするときは、2園体制で募集をすることになるが、どのようなグランドデザインを示すのかということとはとても大事だと思う。あと1年半かけて、どういった形で新しい幼稚園の姿を作り上げていくのだろうか。小学校の再編の時は、学校の先生方と担当課で再編準備委員会を立ち上げ、どんな学校にしていくかということを作っていくかと思う。今回、今ある6園の先生方で、どういう2園を作るのかということを経済し、グランドデザインを作っていく仕組みを考えておられるか。

加賀学校教育課長

まだそこまでの検討はしていない。6園の先生方には説明し、6園の閉園、1年間かけて新しい園を作ることは、課と連携し協議をしながら、グランドデザインを含め検討していきたい。準備が必要な点について、50以上の項目を挙げているが、その中の大事な部分として引き続き検討していきたい。

丸山教育委員

案2ページに「八代市立幼稚園再編基本方針」よりという文言を挿入することは必要だと思うが、挿入する場所はここでのいだろうか。すぐ下に「八代市立幼稚園再編基本方針」で示された以下の点を踏まえながら、という文言があるので、一番下に挿入したほうがよいのではないか。

もう1点は、案6ページの特に充足率や教育施設の状況においては、とあるがここでのいう教育施設とは何を示すのだろうか。

加賀学校教育課長

2ページの「八代市立幼稚園再編基本方針」よりという文言は、より目立つ場所にとということで一番最初に位置づけたところである。

丸山教育委員

その下の3行も踏まえたところで基本方針の中身という形

に見えるので、ここは変えたほうがよいかと思う。この3行を最後に記載するなど、やり方はあるかと思う。少し違和感を覚えた。

児嶋学校教育課審  
議員

6ページの教育施設の状況とは、園舎の施設の状況等をイメージしていた。

丸山教育委員

そういうことであれば、はっきり記載したほうがよいのではないか。教育施設の状況と書いてあると、小・中学校も含めたところで影響があるのかと思ってしまう。はっきり記載したほうが分かり易いかと思う。

加賀学校教育課長

具体的に分かり易い表現に検討したい。

中教育長

これについては検討し、どのようにするかはお知らせしたい。多少の懸念としては、施設の面から考えるということを出してしまうと、子供ファーストでという点とは違ってくるという心配がある。

丸山教育委員

充足率が一番大事かと思う。

加賀学校教育課長

施設の改修等も含めて検討していくが、不安になる表記であれば削除したい。

澤村教育委員

保護者や先生方に再編することによる利点、メリットをはっきり示すということで、5ページの再編後の幼稚園教育の充実については、しっかり説明してほしい。特色ある教育の推進とあるが、英語教育において、市立幼稚園はALTを活用できるという点で大変利点があると思う。月に1回程度、訪問して活動しているとのことであるが、6園から2園への再編後は、今以上の回数を確保してほしいと思う。幼児期から英語圏や世界の文化等に興味関心を持てるようにするということが、市立幼稚園の特色ある英語教育であるというセールスポイントを作ることでも大事かと思う。

加賀学校教育課長

職員体制については、先生方へしっかり説明をしていきたい。ALTについては、6園から2園へ再編されるので、単純に3回の回数が確保できることになる。英語教育は本市の課題でもあり、本県においてもグローバル人材の育成をということを謳われているので、幼児教育の中からしっかり育てていく

いと考える。

丸山教育委員 認定こども園の必要性は低いということを現段階では認めるということであるが、幼稚園が6園から2園に減るということで、1号認定の子供たちを受け入れる枠が大幅に減ることになるが、この場合でも今後も大丈夫であるとこども未来課も考えているということによろしいか。

森田こども未来課  
長兼こども家庭セ  
ンター長 本市の認定こども園の考え方については、こども子育ての事業計画で毎年度、利用のニーズと定員の受け入れの確保を計画している。令和6年度の計画で申し上げますと、幼稚園のニーズが253人に対し、幼稚園の定員、受け入れの確保が775人分であり522人分の定員が余剰となっている。今回、市立幼稚園が4園閉園となるが、この分の定員減についても、現在の供給体制で確保できると考えている。今後さらに幼稚園の再編がなされた場合は、認定こども園の新設等も検討していくという考え方としている。

丸山教育委員 市立幼稚園2園と私立幼稚園や認定こども園の定員で十分確保でき、不足が見込まれる場合は、改めて認定こども園を検討していくということによいか。

森田こども未来課  
長兼こども家庭セ  
ンター長 現時点では、私立においても新たに認定こども園を設置したいということについては、整備を控えている。

丸山教育委員 子供の数が減っている現状ではあるが、八代市としては子供を増やしていきたいという方針があるので、必要な人が必要なところに入れるような形で準備していただきたい。

中教育長 現在、次のこども計画を策定中ということであるが、その中で公立の幼稚園や認定こども園については、どのような方向性で位置づけていこうと検討されているだろうか。

森田こども未来課  
長兼こども家庭セ  
ンター長 次期の来年度以降5年間のこども計画を策定中である。こども計画の中には、幼稚園や保育園等の利用ニーズや確保策を含めたこども子育て計画は、継続してこの計画の中に位置づける形となっている。アンケート等も取っているので、今後、幼稚園や保育園等の利用ニーズを確認しながら、それに対応できる確保策を計画として位置づける予定としている。継続して確保

策を検討し、今後の整備の計画を立てていく。現在策定中であるため、随時お知らせしたいと考えている。

中教育長                      これからも是非連携して進めていただきたい。

【八市教委議第22号 承認】

(議事一時中断)

5. 連絡事項

教育政策課 外部評価委員会 (9/5)

学校教育課 始業式 (8/24)

運動会 (9/15～)

学校・園訪問 37校終了

中体連全国大会結果について

教育サポートセンター くま川教室開級式 (8/30)

宿泊教室 (芦北町) (9/26・27)

博物館 令和5年度活動報告書 (7/24 県教育委員会提出)

未来の学校づくり推進室 第2回審議会 (8/22)

第3回審議会 (11/12)

事務局 9月定例会日程確認 (9/30 15:30～)

教育要覧の作成について

〈休憩〉

(議事再開) 午前10時05分

〈協議第4号〉 令和6年度教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価について

松本教育政策課長              資料により、点検・評価実施方法等について説明

●基本方針3 豊かな心の育成

加賀学校教育課長              点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

高嶋教育サポート

センター所長

渡邊教育委員

3点確認したい。1点目は、県のいじめ追跡調査が実施されなくなった理由を確認したい。2点目は、教育サポートセンターの項目で文言が気になった。「屋根構造全体に危険性があることが発覚し」とあるが、「発覚」という文言が気になった。

また、4月からの正式移転については触れなくていいのだろうか。3点目は、不登校の校内教育支援センターの設置を進めるという方向性について、何か具体化があれば教えてほしい。

加賀学校教育課長 1点目の県のいじめ追跡調査が一昨年から実施されなくなった理由は把握していない。2点目の校内教育支援センターの設置については、具体的な方策は出ていない。実際にいじめの状況は必ず確認するようにしている。転出が中心となっているので、それ以外の体制ができないかという話はしているが、今後考えていきたい。

高嶋教育サポートセンター所長 ご指摘いただいた「発覚し」という文言については、言葉が強いように感じるので修正したい。くま川教室の移転について、今回は令和5年度における取組状況ということで、仮移転という表現になっている。

渡邊教育委員 校内教育支援センターのあり方については、できるだけ早期に学校が設置できるよう、具体的な方針を示していただけると助かるのではないかと思います。

澤村教育委員 全児童・生徒のうち新規不登校児童・生徒の占める割合が減ってきたことは良いことだと思う。教育サポートセンターの評価もAということで、特に不登校相談サポート事業がしっかり行われているのだと思った。相談に対する対応が401件ということで、真摯に行われ、その結果が出ているのではないかと感じた。

「いじめ問題」対応の強化と道徳教育・郷土学習の充実の項目について、SNS上でのトラブル、いじめに触れてあるが、目が届かないところで起きているということで、学校だけでは解決しない問題ではないかと思う。一番大事なのは、家庭の意識であり、家庭との連携をしっかりと取りながらしていくことが大事だと思う。SNS上でのトラブルは、家庭にいる時間に起こり得ることであり、起きてしまったらどうなるかという意識を保護者に持たせることが大事だと思う。何か起きた場合、学校は大変な対応を迫られると思う。その責任が学校だけに及ぶのではなく、家庭、社会の問題としてしっかりと捉えるように、保護者との連携、啓発が必要だと思う。

加賀学校教育課長 SNS関係のトラブルは、今年度も教育委員会に相談が上がってきている。なかなか見えないプライベートな部分であり、

確認もしにくいため、未然防止が一番大事かと思う。保護者、地域と未然防止に努める手立てを講じていきたいと思う。

丸山教育委員 不登校児童生徒の「指導要録上の出席扱い」に係るガイドラインを令和4年度に策定されているが、出席扱いとしたのは令和5年度からということだろうか。

加賀学校教育課長 そのとおりである。

丸山教育委員 はっきり分かるように記載してもよいかと思う。また、令和5年度にこれに基づき出席扱いとされた子供の数は分かるだろうか。

加賀学校教育課長 学校からの相談により5名を出席扱いとしてよいとしたが、その後に学校復帰などがあり、実際は2名を出席扱いとした。

#### ●基本方針5 特別支援教育の推進

加賀学校教育課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明  
高嶋教育サポート  
センター所長

澤村教育委員 成果指標の推移について、配慮を要する児童生徒において個別の教育支援計画が作成された割合が、通常学級については令和7年度の目標値が80%に下がっているのはなぜだろうか。本来であれば100%がよいと思う。令和5年度の実績値が96.6%であるのに目標値が下がっているのは、何か意図があるのだろうか。

加賀学校教育課長 令和元年度が64%であり、その時点での令和7年度の目標値を80%としていた。令和4年度にかなり伸び、高い割合になったので修正ができるのであれば検討したい。

田中教育部長 あくまでも令和元年度に目標を設定したときの数値である。目標値よりもすでにオーバーしているということである。

渡邊教育委員 支援学校の免許状取得状況であるが、毎年何名ほど、特別支援学校教諭免許状の講習を受講をされるのだろうか。現在、何割程度の先生が八代支援学校で免許状をお持ちだろうか。  
また、予算関係であるが、教育サポートセンターの特別支援

教育相談事業の令和6年度予算が令和5年度より100万円多くなっているのはどういった内容か。

田島学校教育課教育支援係指導主事 支援学校の先生方の免許状保有率については、教職員の入れ替わりにより年度ごとに変わるが、令和4年度は78%、令和5年度は84.6%、令和6年度は72.5%となっている。全体的意識役割を担う学校であるので、免許取得に向けてお願いしているところである。

高嶋教育サポートセンター所長 予算については、手当に係るものである。法改正により、勤勉手当、期末手当、共済掛金が上乘せになったものである。

渡邊教育委員 支援学校の免許状は、思ったより高い取得率で、頑張っておられると思った。免許状を持った先生が他の小・中学校に異動されるのもこれから増えていくのだろうと思う。

予算についてお聞きしたのは、アドバイザーに関するところで増やしてあるのかと気になった。アドバイザーの年間相談件数が大変な数なので、大変なご苦労があっているかと思う。調整も大変かと思うが、学校がとても必要としているので、頑張ってください。

### ●基本方針1 幼児教育の充実

加賀学校教育課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明  
松本教育政策課長

丸山教育委員 幼・保等、小・中連携の充実の取組状況及び評価理由のなかで、「福祉部と連携して」という記載があるが、「健康福祉部」と記載した方がよいと思う。

また、今後の課題と方向性のなかで、魅力ある幼稚園づくりとあるが、幼稚園再編の取組をしているので、それについての記載はしなくてもよいのだろうか。

加賀学校教育課長 幼児教育の充実のために再編を行うので、対応をしたいと思います。

丸山教育委員 書き様はあるかと思うので、今後の在り方を検討するなどの記載をしておく、来年度の評価につながるのではないかと。

澤村教育委員 学識経験者等の意見のなかで、子育ての普遍性の更なる発進

とはどういったことだろうか。

萩本教育政策課長 教育政策係長 昨年度の外部評価の内容であるため確認したい。

●基本方針2 確かな学力の育成

加賀学校教育課長 松本教育政策課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

丸山教育委員 キャリア・パスポートの脚注が途中から表示されていない。この後どう続くのだろうか。

加賀学校教育課長 自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫された記録のこととなる。

渡邊教育委員 学力向上は大変大きな課題である。今後の課題と方向性に「学力向上やつしろプラン」等の内容の見直しとあるが、「学力向上やつしろプラン」が最初にできたのはだいぶ前かと思う。平成22・23年ではなかったか。その後どれくらい改訂されたか確認していないが、見直しの内容、方針が一人一人の先生方までしっかり届くように周知徹底をお願いしたい。学校訪問に行ったときに、各学校の対策や方針ですら徹底していない状況がいくつかあったので、学力向上については、しっかり周知徹底をお願いしたい。

英検について、今年度は中学3年生に関して検定料の全額補助が行われるが、事務的なお知らせではなく、校長先生や英語の先生にしっかり教育委員会の思いが届くように、英語の先生方がしっかりそれを子供たちに伝えられるようにお話しをしていただきたい。

加賀学校教育課長 「学力向上やつしろプラン」は、本市の学力向上のベースとなる部分であり大事な部分であるが、平成22年から改訂がなされていない。今年度改訂を進めているので、今年度改訂した部分を周知し、徹底するような声掛け、指導等を考えている。英検については、校長園長会等を利用して話をしている。しっかり教育委員会の思いが伝わるように話をしたい。

澤村教育委員 学力向上については、小学校、中学校ともに目標値に足りないところがあるが、特に中学校は平均スコアに達していない。

評価についても、授業改善は進められてきているものものと記載されている。学校訪問等において、授業している先生は理解していらっしゃるのかと思われる授業も見られるので、一人一人の先生方の意識改革、危機意識を持っていただく必要があると思っ

ているところである。日々の積み重ねを大事にしてほしい。  
英検については、3級相当以上の力を持っていながら英検を受験したことがない3年生が16%程度いるということであるが、3級相当以上の力を持っているかどうかの判断は、英語の先生がされるのだろうか。

岩本学校教育課指導係指導主事 そのとおりである。

澤村教育委員 なぜ16%程度の子供たちが受験しないのだろうか。受験を勧めていらっしゃると思うが、英語の先生からの本人や保護者への勧めについてはどうだろうか。英語の先生が熱心に勧められていないのではないかなども考えられるが、実際はどうなのだろうか。

岩本学校教育課指導係指導主事 先生方の熱意もあるかと思うが、一番の原因は子供たちが力はあるが自信がない、力はあるが英検は必要ないと思っ

ている意識を持っていることなどが考えられる。今年度、全額補助をすることで、今まで受験したことのなかった生徒が受験をするようになるので、取得率に見えてくるとよいと思う。  
澤村教育委員 国も県も英検受験を勧めているので、それなりに価値、メリットがあると思う。英検2級を取得していると大学受験等に有利に働く面もあるので、そういった面も説明が必要であると思う。また、力はあるが自信がない点については、先生方から自信が持てるような日頃の指導、取組をお願いしたい。今年度から全額補助になるため、受験者が増えてくれると期待しているところである。

加賀学校教育課長 子供たちに学び、生きる力が育っているという部分を示す大事なところであるため、具体的な取組として学校に進めてもらい、成果につなげ、子供たちの自信につながるような、自己有用感を高められるような取組にしたいと思う。

早田教育委員 成果指標について、確かな学力の育成というところで、英検

3級相当を取得した割合が増えれば増えるほど確かな学力が付くのだろうか、英語に強い子供が育つのだろうか。学力・学習状況調査を実施することで、経過は分かるが、点数やスコアに一喜一憂することが、子供たちの確かな学力を付けることにつながっていくのか。将来、社会貢献をしながら働いていく子供が育つのかといったところにつながるのだろうか。この指標でよいのだろうかという点で感じていたところだった。数字で判定しなければならないという点でやりやすい項目ではあるが、本当の確かな学力という点ではどうだろうかと感じたところである。

加賀学校教育課長 確かな学力につながっているかというところは、数値で表せない部分、数値では見えない部分があるので、客観的な指標の一つとして捉えている。大事な部分は、数値が最終的な目標ではなく、それが本当の学力につながっているかということである。それは、しっかり授業で見ていく必要があるので、一つの手立てとして取り組みながら、本当の学力につながるような部分を市としても進めていく必要があると思う。点数が上がったからよい、低かったらもろさがあるという部分で課題であり、手立てとしてしっかり取り組んでいこうということを進めていきたいと考えている。

中教育長 国、県が学力・学習状況調査を実施するというので、数字が見える形になる。点数が高いからよいということではないが、低い点数しか出ていないということは、学び方、学ばせ方に課題があるのではないかと分析される。一定の目安として、数字を使いながらより良くしていくために取り組んでいく。点数が良かったら取組をやめるということではない。改善するための取組に使っていく数字であると考えて。点数が低いから八代の子供たちが悪いということではなく、教える側として我々の取組目標であると考えて。英語が大変低いため、教育委員会と学校が一緒になって、子供や保護者の心に届くような呼びかけをして、しっかり取り組みたいと思う。よろしく願いたい。

#### ●基本方針4 健やかな体の育成

加賀学校教育課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明  
松本教育政策課長

丸山教育委員 体力の向上と健康の保持増進について、体力、運動関係とう歯に関しての記載はあるが、その他の健康に関して記載がない。計画にないのだろうか。例えば眼科や耳鼻科など、健康に関することがあるのではないかと思うが、いかがだろうか。

加賀学校教育課長 各学校の情報はあるが記載していない。学校によって、また地域の特性によって取組があることは把握している。

丸山教育委員 せっかく取り組んでおられることなので、健診や指導を行っているという記載があるとよいかと思う。特にう歯については、ということだと思う。

中教育長 以前、視力の低下について議会で質問されたことがあった。

加賀学校教育課長 視力や体格等もあるので、追記を検討したい。

澤村教育委員 体力の低下は、コロナ禍で特に顕著になったところであるが、学力の低下と匹敵するくらい重要な問題であると思う。体力が低下するという事は、今後の人生において大変マイナス面である。体力は、生きていくための一番基礎の部分だと思う。今年の夏は酷暑であり、家の周りで小学生の姿を見ることがなかった。やっと始業式で登校をする姿を見たという状況だった。暑いので、エアコンの部屋の中で過ごしているのだと思う。自分たちが子供のときは、夏休みは川や山に行って遊んだり、ずっと動いていたので、大変な損失ではないかと思う。解決策として、学識経験者等の意見にもあるが、学校体育館のエアコンを整備し、開放することも必要かと思う。街には体育館や図書館などの施設もあり、大人はジムに行くこともできるが、田舎に住んでいると全くそういった施設がない。ぜひ、公民館や学校体育館などのエアコンを整備し、自由に活動できる場を提供できるとよいと思う。今後、天候がどうなるか分からないが、だんだん暑くなっていくと思うので、夏場は特に体力が低下するのではないかと思った。

加賀学校教育課長 体力も大事な部分だと考えている。体力がないことで、授業にも集中できない、体幹が維持できず姿勢が崩れる、我慢できないということもあり、学校教育の大事な要素の一つだと認識しているので、取組を進めていきたいと考える。また、活動時間については、業間体育をしている学校もあるが、働き方改革という部分で、学校の課題をしっかりと見ながら必要な部分を行

うことで対応したい。必要な部分は、授業の中で活動時間を確保するという点を指導主事からも指導しているところである。

●基本方針 17 歴史文化遺産の保存継承と活用

米崎文化振興課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

渡邊教育委員 今後の課題で、補助金の所有者負担が懸念されるというのはどういう意味なのか。また、埋蔵文化財管理活用事業の予算について、令和6年度は72,619千円と前年度から大幅に増えているが内容は何か。

米崎文化振興課長 指定文化財の管理等補助金について、市で要綱を策定しており、全額補助ではなく一部補助としている。具体的には、経費の2分の1以内及び70万円までとしている。140万円までの事業であれば所有者の負担は2分の1であるが、それ以上になると所有者の負担が増えてくるという状況である。これについて、修理修復の費用も昨今上がっており、手を付けづらくなっているという話を若干聞いている。所有者の負担については、民間の各種助成制度などの案内を含め、支援の助言を行っているところである。

令和6年度の埋蔵文化財管理活用事業の予算については、坂本町の旧西部小学校の校舎を、埋蔵文化財の出土した遺物等を保管する文化財収蔵施設として利用していたが、令和2年7月豪雨災害でこの地域が被災をし、今般、西部地域で排水機場の整備計画が立ち上がっていることから、それに伴い、旧西部小学校の敷地に排水機場が設置されるということで、移転の必要が発生したものである。予算の7,000万円ほどは、移転費用である。市内の3カ所に分散する形で、既に移転作業は終了している。

中教育長 補助金の所有者負担については、記載のとおりで伝わるだろうか。もう少し言葉を加えたほうがよいかと思う。

米崎文化振興課長 説明したような文言を付け加え、修正をしたい。

早田教育委員 でんでん館で八代市の文化財や遺跡、妙見祭の展示などが行われ、マルシェなどのイベントも行われるようになり、子供たちと行きやすい雰囲気だと感じている。これまで、八代市の文

化財を見る機会があまりなかったが、子供たちと一緒に楽しめると感じている。そのほかにもイベントが行われたり、東陽中のボランティアガイドも中学生が頑張っている。少し前に、教育委員会で東陽の石橋についての漫画本を作られたかと思うが、最近見る機会があった。とても分かり易く、八代の歴史を知ることができた。もっと多くの人に読んでいただきたいと感じた。八代の文化財に親しむことによって、郷土愛も生まれ、子供たちが八代に定住したいと思える街になると思うので、更なる取組に期待したいと思う。

米崎文化振興課長　でんでん館については、7月から入館料が無料化された。これまでと比べると夏休みということもあるが、入館者数が増えている。年間1万5千人程度の入館者を見込んでいるが、開館3年を超えた9月には5万人を達成できそうである。小学校3年生の市内巡りの受け入れ等もしており、引き続き利用していただきたい。

丸山教育委員　成果指標の進捗状況の記載について、文章が繋がっていないと思う。「指定及び国登録文化財の件数については」と、数のことを言っているが、件数はクリアしているようなので、進捗状況を書き加えてはどうか。

米崎文化振興課長　現在の取組状況も踏まえて修正したい。

中教育長　今後の課題と方向性のところで、民俗文化財等の後継者不足も課題となっておりとあるが、行政側から後継者確保のための助成や支援などの手立てはあるのだろうか。

米崎文化振興課長　公開活用や後継者育成に係るところでは、「やつしろがめさんWAON」等の基金を活用した小口の助成等がある。

中教育長　行政側の支援等があるのであれば、それを活用してというところを書き加えるとよいと思う。

米崎文化振興課長　そのように修正したい。

●基本方針15 文化の継承と創造に貢献する博物館づくり

上角博物館未来の　点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

森ミュージアム副  
館長

澤村教育委員

特別展が4回開催され観覧したが、とても素晴らしいものだった。堅山南風展については、美術家としても有名な方であり、以前、県立美術館で作品を観覧したことがあり、久しぶりに八代で観覧することができて感動した。また、春光寺との関係は新しい学びだった。堅山南風と松井家、春光寺との関係について発見がありとても良かった。収蔵品と松井家の武具の展覧会についても素晴らしいもので感動した。県外からも多くの人が訪れたのではないだろうか。刀剣の美しさ、鞘やつばの美しさを鑑賞でき、定期的に開催してほしいと思った。しばらく閉館とのことであるが、力を蓄え、アイデアを練っていただき、今後もよい展覧会を開いてほしい。

上角博物館未来の  
森ミュージアム副  
館長

展示、研究をしていくなかで、八代との関わりなどを新たに発見することができる。このようなところから、学芸員の視点をもって研究している。市民の皆さまに明らかにしていくことができるように、計画を立てながら、ねらいを確かにしながら取り組んできたい。

渡邊教育委員

他施設で開催が可能な展覧会とあるが、例えばどのような施設での開催を想定されているのだろうか。

上角博物館未来の  
森ミュージアム副  
館長

今年度はお祭りででんでん館を借用し、子供たちが毎年見学に訪れていた昔の道具展を行うこととしている。お祭りででんでん館の会議室が空いているときになるので、期間が限られるが、9月から約1ヵ月間の開催を予定している。昨年度の年度末と今年度当初に、校長園長会を通して学校にもお知らせしており、現時点で5校からの申込があっているところである。また、令和7年度の予定として、県立美術館での計画を立てているところである。県の事業との兼ね合いもあるので、詳細は伝えることができないが、計画中である。

丸山教育委員

クルーズ船が寄港するようになり、博物館付近を外国の方が利用されているのを見かける。増えてきたところで休館となるので残念に思うが、インバウンド対応はどのようにされているか。

上角博物館未来の

説明については、多言語での説明を行っている。開館に向け

森ミュージアム副館長 てキャッシュレス等についても検討している。開館した際は、キャッシュレスや多言語での対応ができるように検討している。

丸山教育委員 現在、休館中と日本語で表示してあるので、他の言語でも表示をされるとよいと思う。

上角博物館未来の森ミュージアム副館長 外から見られる外国人の方もいらっしゃる所以对応したい。

〈休憩〉

議事再開（午後1時00分）

●基本方針6 9年間を見通した「八代型小中一貫・連携教育」の推進

加賀学校教育課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

丸山教育委員 中学生になるのは楽しみですかというアンケートは、小学6年生に対するものだろうか。

加賀学校教育課長 6年生を対象としたアンケートで、毎年11月から12月頃に行っている。

丸山教育委員 楽しみでない理由についてのお尋ねや分析はあるのか。

加賀学校教育課長 理由についての項目は準備していない。

丸山教育委員 できれば理由について聞かれたらどうかと思う。中学校に行くのが不安なのか、今が楽しくないからなのか、様々な理由があると思う。中学生になるのが楽しみな児童の割合が減少しているのが残念である。

中教育長 具体的なアンケートは、何のアンケートの中に入っているのか。

加賀学校教育課長 小中一貫連携教育のアンケートということで、市独自で行っているものである。

中教育長 アンケートの項目の内容を変えることは、市で対応ができるか。

加賀学校教育課長 対応できる。

●基本方針7 教職員の資質・指導力の向上

加賀学校教育課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明  
高嶋教育サポート  
センター所長  
松本教育政策課長

渡邊教育委員 在校時間が45時間以上の先生方が少しずつ減ってきているという状況がよく分かったが、どのようにして在校時間の集計をしているのだろうか。

加賀学校教育課長 校務支援システムで市内全職員の在校時間が把握できるため、集計をしている。また、学校から80時間以上の報告等もあるので、適切な勤務時間となるよう進めている。

渡邊教育委員 在校時間の長さについては、八代市に限らないことであるが、できることは全てやっているという状況であると思う。あとは、質的な問題、意識的な問題であり、学校の工夫をお願いして、一人一人の先生方が余裕をもって子供たちと向き合ってもらえるようお願いする。

中教育長 教職員の人材育成ということで研修の充実があり、教職員の業務効率化というところで長時間労働の解消がある。先日、県議員の先生方との意見交換時に、研修ばかりしていると働き方改革は進まない、その点についてはどう考えているかと質問があった。これについて、学校教育課と教育サポートセンターではどのような考え方で折り合いをつけて進めておられるだろうか。

加賀学校教育課長 コロナ禍の頃にかなり研修を見直し、今残っているのは必要な研修だと考えている。働き方改革は、先生方から長時間労働をなくすという視点だけではなく、教育の質を維持しながらの働き方改革と考える。その点で必要な部分というところで残っていると考える。今年度どうするかは、教育サポートセンター

との話し合いはできていない。

高嶋教育サポートセンター所長 研修については、学校現場からすると、人が出ていくというのは大変痛いところである。そのような思いをしてきたので、できるだけ絞り込んで、削減できるものは削減していくという方向で進めている。

中教育長 私も大体同様の答えをした。引き続きよろしくお願ひしたい。

早田教育委員 ある先生方とお話しする際に、教育委員会はなぜ現場の意見を聞いてくれないのか、現場の意見を取り入れてほしいと言われたことがあった。今後の課題と方向性を見たときに、現場の教職員等の意見を取り入れながら、本市の働き方アクションプランについても改訂を行う予定であるとあるので、是非、現場の課題や意見を取り入れながら、教育委員会の動きにしていけると、よりよい八代市の学校教育になっていくのではないかと思う。先生方の元気や生き生きと働かれる姿が、子供たちが学校生活を楽しく過ごすところにつながり、子供たちにとっても一番よいことだと思うので、今後、現場の意見等も教育委員会の中でお伺ひしたいと思っている。

加賀学校教育課長 一番大事な部分であると考えている。校長園長会との連携、年2回の学校安全衛生委員会、教職員組合との話し合いもあるので、いろいろな部分を含めたうえで働き方アクションプランについても改訂を行いたい。

#### ●基本方針8 学びを支える教育環境の整備

松本教育政策課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明  
加賀学校教育課長

渡邊教育委員 学校・子ども教育応援基金について、大変ありがたい制度であると思うが、学校、幼稚園からの要望件数が年々減少している傾向というのは何が原因なのだろうか。応募の手続きが煩雑なのか、予算は足りないということなのだろうか、どのように分析されているか。

松本教育政策課長 これに関しては、学校、幼稚園にアンケートを行ったところ

である。

萩本教育政策課教  
育政策係長

制度が始まってから最初の3年間ほどは新しい取組の要望があったが、その後減ってきていた。なぜだろうかと、関係課等にも相談した。要領に年間150万円程度という規定があり、オーバーしていたので却下せざるを得なかったという状況が続き、要望しても無理なのではないかというあきらめ感があるのではないかと、校長先生が1～2年で異動されることもあるなかで、こちらからの説明を丁寧にしていく必要があったのではないかと、メニューに学校の要望に合うものがないのではないかと、ということで、学校、幼稚園にアンケートを行い、今回要領の見直しを行ったところである。手続きが煩雑で負担感があるのではないかと、新しい取組を行う余裕がないのではないかと、ということも心配されたので、夏の校長園長会では要領の改正や実績報告等について、丁寧な説明に心掛けたところである。

中教育長

令和6年度は新しい事業もあったと思うが、どのような事業を予定しているか紹介してほしい。

下津教育部次長

デジタル新聞を小学校2校、中学校2校で取り入れ、試験的に子供たちに活用してもらっている。1校につき50ライセンスを取得し、授業等で活用できるようにした。9月に、子供たちがどのように活用し、どのような効果があったかを検証し、今後、全学校に広めるかの検討を進めるところである。昨年度、新しい取組として各学校にアンケートを実施し、利用してみたいと手を挙げられた学校から4校を選んで取り組んでもらっているところである。

中教育長

学校から要望があった事業を予算要求しても、財政課の査定で削減されてしまう状況があり、なかなか新しい取組ができない状況であった。QUテストばかりになってしまい、150万円の枠があるのに70万円ほどの事業しかできなかったということが昨年度にあった。学校が必要だと言ってきているものを事業化するのだから、少し考えてほしいと話をしているところでの試行ということもある。

松本教育政策課長

今年度の予算は2,143千円を計上している。例年150万円であるが、昨年度70万円弱の支出となったため、今年度は150万円を超えている。

内容としては、先ほど下津次長から説明のあった、デジタル

新聞の活用として中学校2校、小学校2校で電子新聞を取り入れ、検証をしている。また、教育推進モデル校、防災教育の推進に34万円ほど、中学校の英検補助については、3年生は全員分予算化したので、基金では受験を希望する1・2年生分の補助について計上した。その他QUテスト、不登校対策のパンフレット作成、不登校児童生徒の校外活動について273千円を予算計上している。

渡邊教育委員 今回、実施要領の見直しをして現在募集中ということであれば、却下される事例のないように、是非、学校の思いを酌んでほしい。また、財政課にも学校の独自性を生かした予算措置をお願いしたい。

#### ●基本方針9 安全・安心な学校づくりの推進

稲本教育部理事兼  
教育施設課長  
加賀学校教育課長  
松本教育政策課長

点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

早田教育委員 避難所として必要なライフラインの確保のための「耐震性受水槽の設置」に関して、小学校1校、中学校1校はどちらの学校だろうか。

稲本教育部理事兼  
教育施設課長

日奈久小学校、日奈久中学校である。

早田教育委員 新設工事が日奈久小学校だろうか。

稲本教育部理事兼  
教育施設課長

現在、日奈久小学校と日奈久中学校共同で一つの受水槽があった。耐震性、リスク分散ということから、小学校、中学校それぞれで耐震性受水槽の設置を行った。これまではコンクリートで囲まれた受水槽であり、地震で揺れた場合は水が漏れるものであった。耐震性受水槽というのは、ステンレスの囲いになり、地震で揺れた場合は、水が漏れないように止水弁があり、新しい手法での受水槽である。

早田教育委員 設計業務を小学校1校で実施、完了したのは日奈久小学校、新設工事を実施したのも日奈久小学校ということでしょうか。

稲本教育部理事兼  
教育施設課長      そのとおりである。

渡邊教育委員      今回、話題になっていないところではあるが、学校訪問の際に先生方の悩みの声が聞こえてきたのが、特別教室のエアコンについてである。設置されていない教室がいくつかあると思うが、今後どのような見通しだろうか。

稲本教育部理事兼  
教育施設課長      普通教室のエアコンは整備されたが、支援学級の空き教室はエアコンの整備を行っていなかった。現在、支援学級が増えてきており、空き教室だったところが教室に転用されている。エアコンが設置されていない教室があり、学校からの要望があるので現在対応中である。家庭科室等の特別教室については、エアコンが設置されていない。先生方の要望があるのは認識しており、今後必要になってくると思われるので、前向きに対応したいと考える。

丸山教育委員      給食の炊飯方式について、新センターでも委託炊飯を継続するとあるが、メリットがあるのだろうか。

松本教育政策課長      旧郡部の単独調理校においては炊飯を行っているが、旧八代市の給食センターについては、県学校給食会に委託をしている。現在、揚町にある清水パンが炊飯業務を行っているが、施設が老朽化しており、衛生基準も満たしていない部分があるため、炊飯業務を新センターで行うのか、委託にするのかを判断したところである。県給食会に、新センターは衛生管理基準を満たした施設になるので、ぜひ炊飯業務も衛生管理基準を満たした施設にしてくださいと話したところ、清水パンでは施設の改修は難しいが、パンを提供されるパン協同組合が衛生管理基準を満たした新しい炊飯施設を建設し、提供できるということだったので、委託炊飯を継続することとした。

丸山教育委員      新センターで炊飯をするという考えは最初からなかったということだろうか。

田中教育部長      最初は考えた。新センターで炊飯してもよいのだが、一つはリスク分担という面で、別の施設で炊飯すると、センターで何かあってもご飯は供給できる。炊飯だけを行う設備を追加するとなると、さらに事業費が増大する。また、これまで委託していた市内の業者に対して、新センターを建設するから委託を中

止するということも好ましくないため、委託業者に確認した。最初は、新センターに合わせて新しい衛生管理基準を満たす炊飯施設を建設するという回答であったが、やはり難しいとなったため、委託している熊本県学校給食会に確認したところ、学校給食会で新たに旧鏡消防署の土地を求められ、そこから市内の学校にご飯とパンを配送することになった。家庭にとっては、委託料が給食費に加算されることになるので、若干給食費が高くなる。しかし、全てを新センターで行うとなると、設備費が増大するし、配送車の買い替えも必要になる。今の配送車にご飯まで積むと配達ができない状況になる。総合的に考え、ご飯とパンはこれまでどおり委託で進めることに決定した。

丸山教育委員            ご飯は業者から直接配送する。これを直営にすると、いろいろな影響があるということがよく分かった。

●基本方針10 学校・家庭・地域の連携・協働

泉生涯学習課長            点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明  
加賀学校教育課長

渡邊教育委員            地域学校協働活動については、多岐にわたって素晴らしい活動が展開されていると思っている。6,800人もの方々が学校活動支援に入られているということは、大変ありがたいことだと思う。また、地域未来塾や放課後子ども教室、不登校対策においてもたくさんの成果を上げていると思う。評価はBではなくAでよいかと思う。

早田教育委員            2項目について目標値も達成されているので、Aでよいと思う。

中教育長                    教育委員の方々のご意見により、A評価としたい。  
お尋ねだが、今後の課題と方向性のところで、令和4年度の不登校の現状が記載されているが、これは以前から記載してあったらどうか。

米村生涯学習課長            記載されていた。

補佐兼社会教育係  
長

中教育長                    衝撃的に高い数値である。国や県に比べると率が倍くらいである。これが現実であるが、中学校の12.4%は、国の

5. 98%、県の7%に比べるととても高い数値である。数値を見たときに教育委員さん方の受け止めとしてはいかがだろうか。

丸山教育委員

国や県の数値が対比で出ていると高いと感じる。

中教育長

この数値を出すのであれば、不登校対策のところに出した方がよいのではないか。

田中教育部長

この数値はここから削除し、基本方針（3）豊かな心の育成の今後の課題と方向性の最初に記載する。

丸山教育委員

今後の課題と方向性のところで、ボランティア人材については、活用いただけていないため、活用率を増やす必要があるとあるが、取組状況のところでは、多くのボランティアの参加があり、いろいろな活動をされていると思われる。活用率を増やしたいのは人材ボランティア登録をされている21人のことであるか。

米村生涯学習課長  
補佐兼社会教育係  
長

おっしゃるとおり、人材ボランティア登録者数が伸びていないということと、あまり活用されていないということなので、地域コーディネーターの研修会等で周知をしているところである。

丸山教育委員

地域コーディネーターの方に登録しませんかという働きかけをしているということだろうか。

米村生涯学習課長  
補佐兼社会教育係  
長

地域コーディネーターの方が人材を欲するときに、人材ボランティアの紹介をしているが、自分たちの人脈で人材を集めてこられる。

田中教育部長

生涯学習課では、さまざまな学習講座の講師や地域活動を含めたところで、人材バンクを作って登録をさせていただいている。登録をさせていただいたにも関わらず、あまり利用されていない現状がある。せつかく登録させていただいているので、人材バンクを活用しましょうということである。

中教育長

登録しても活用してもらえないので、登録する人が増えないのではないかとということを受けての記載である。

田中教育部長	表現を分かり易く修正したい。
	●基本方針12 地域における教育力の向上
泉生涯学習課長	点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明 質問等なし
	●基本方針13 生涯を通じた学習活動の推進
泉生涯学習課長	点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明
澤村教育委員	基本方針を構成する主な施策の取組状況及び評価のなかで、アウトドアスクールなどの4事業の記載があるが、この参加人数は対象となっている市内の4～6年生の割合からするとどの程度なのだろうか。広報やつしろやホームページ、SNSなどを活用し、案内はしてあるようだが、実感としては、少ない感じを受ける。時代の流れでアウトドアや宿泊体験に興味がないのだろうかとも思うし、広報の仕方が弱いのだろうかとも思う。学校を通じての周知はないのだろうか。
西村生涯学習課生涯学習推進係長	保護者宛ての安心安全メールで周知をしている。
泉生涯学習課長	これについては募集定数がある。定数以上の申込があり、抽選を行っている。受入体制により定数を設けている。希望者は多数である。
澤村教育委員	このような活動にあまり興味関心がないのだろうかと思ったところだった。大事な活動だと思った。
丸山教育委員	親の学びトレーナーとは、市の職員が研修を受講してトレーナーとなっていると思うが、現在、何名くらいいるのだろうか。
泉生涯学習課長	親の学びトレーナーは市の職員である。毎年1名は必ず受講し、新規で登録している。
丸山教育委員	成果指標が令和元年度から100%だったので、市の職員であれば研修を受講すると登録すると思う。次に計画を見直すときは違う指標を設定したらどうか。

田中教育部長 実際は一般の方でも受講することができる。職員が受講すれば100%になるのは当然なので、今後は見直したいと思う。

早田教育委員 子供向けのイベントや学校ではできない体験を企画されたり、リカレント教育で市民が求めている講座を設け、たくさんの市民の方が参加されているのは素晴らしいと思う。一つ提案であるが、保護者の同士でよく話すなかでいつも出る話題が、自分たち世代と親世代の子育てが違うので、その齟齬をどうにかできないだろうかということである。昔と変わっていることもたくさんあるので、今の子育て講座のようなものをお母さんたちだけではなく、おじいちゃん、おばあちゃんも参加できるような講座があるといいと思う。一緒に受講するというよりは、孫育て講座のような形で、おじいちゃん、おばあちゃんがどのように孫に関わっていくかというような講座があると、保護者としてはうれしく思う。

泉生涯学習課長 コロナ禍前にそのような講座を行った記録がある。間隔があいているので、次年度以降に検討したい。

〈休憩〉

議事再開（午後3時00分）

●基本方針14 人を育む図書館づくりの推進

泉生涯学習課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明

澤村教育委員 在住外国人が増加傾向にあることから、外国語資料の充実を図ったとあるが、図書館を利用する外国人の方は多いのだろうか。

西村生涯学習課生涯学習推進係長 農業実習生の方々などが、お世話される日本人の方と一緒に来館され図書貸出カードを作っていくというのは、年間を通してある。令和4年度は92冊、令和5年度は136冊登録し、登録する図書も外国語関係を増やしている。

丸山教育委員 ブックスタート配布率の100%を目指すということであり、7カ月健診のときに配付するということだが、どうしても健診に来られないご家庭がおられるので、100%というのは

なかなか難しいのではないかと思います。健康推進課では健診に来られなかったご家庭には、その後電話したり、保育園に伺うなどアプローチをして接触を図っているので、ブックスタートもそれを利用して配布してもらうなどはしていないのだろうか。

西村生涯学習課生涯学習推進係長 当日、健診に来られなかった方については、後日、健康推進課でフォローアップをされるので、ブックスタートパックを渡していただくようにしている。

丸山教育委員 それを含めても配布率は93%ということだろうか。

西村生涯学習課生涯学習推進係長 おそらく、健診の当日、対面で説明ができた数値ではないかと思われる。

丸山教育委員 せっかくなので、ブックスタートを配付できた数値が把握できるとよいと思う。そうするともっと上がると思う。

田中教育部長 図書館は指定管理者で運営をしており、来年度が更新の時期になる。もし、事業者が変わるといろいろなやり方が出てくるかと思う。親子で楽しめるような、以前とイメージを変えながら図書館の運営できるとよいと思う。

中教育長 移動図書館を購入したということがあったが、本日配付している八代市教育要覧の表紙に写真がある。子供たちから応募した絵を拡大して車に貼っている。

西村生涯学習課生涯学習推進係長 わくわく号という愛称についても公募をした。

#### ●基本方針16 社会教育施設の整備

泉生涯学習課長 点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明  
上角博物館未来の森ミュージアム副館長

早田教育委員 図書館本館整備の案として、親子で集える図書館という方針で進んでいるのはとてもよいと思う。図書館を建て直すというのはハードルが高いと思うし、がらっと変えるのも難しいと思うので、提案として企業と一緒に取り組むというのはいかがだ

ろうか。例えば、イオン八代さんは社会貢献の活動に力を入れておられ、子供たちのスポーツの場などを提供したり地域活動の場としてのイオンというのを目指されている。2階の空きスペースなどで動きもあるような図書館を運営し、今の図書館のように静かな空間を好む人もいるので、今の図書館は静かな図書館として残すというのも一つの案ではないかと思う。

泉生涯学習課長 今年度、図書館の指定管理者の募集を行うが、周辺の図書館でも新しい形の図書館が見られるので、周辺の動きを注視しながら図書館の在り方を検討していきたいと考える。

田中教育部長 イオンさんとの連携は数年前に打診があった。2階のテナントスペースが空くので図書館の分館としてどうだろうかということだった。生涯学習課でも検討したが、図書管理のために職員が常駐する必要もあるため、実現には至らなかった経緯がある。その後、イオンの玄関前に移動図書館車を行かせていただき対応をしたところである。今後、引き続き検討をしていきたい。

澤村教育委員 博物館について、改修のためしばらく閉館になるのは残念だが、コロナが収束し、外国人の方の来館が増えたということはあるだろうか。

上角博物館未来の森ミュージアム副館長 今年度からクルーズ船の入港が多くなり、外国人の方は増加した。クルーズ船によって、八代市内を観光されるお客様と熊本市内の観光に行かれるお客様がいらっしゃるが、前年度と比べると増えてきているので、年々増えてきているという感触はある。

澤村教育委員 改修後は増える可能性もある。今回の展覧会もいくつか観覧したが、特に松井家の甲冑や刀剣、調度品などは外国人の方には大変魅力的に映るのではないかと思うし、民具、民芸品も外国の方から見ると、日本の生活、歴史に対して興味のある方にはおもしろく映るのではないかと思う。良い物がたくさんあるので、開館後は是非たくさん見ていただきたい。

田中教育部長 改修後はヘッドセットで多言語に対応した説明ができないだろうか考える。

澤村教育委員 日本の昔の生活用品や武具などは外国の方には大変魅力的

に映ると思う。是非、外国の方にも見ていただきたい。

上角博物館未来の  
森ミュージアム副  
館長      ホームページなどを見て来館される外国のお客様もいらっ  
しゃる。クルーズ船のお客様に対しては、特別な広報等はして  
いないので、工夫していきたい。

●基本方針18 災害からの復興推進・教訓の継承

松本教育政策課長      点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明  
稲本教育部理事兼  
教育施設課長  
加賀学校教育課長  
泉生涯学習課長  
米崎文化振興課長  
上角博物館未来の  
森ミュージアム副  
館長

丸山教育委員      学校のサーバーは、全ての学校で職員室に設置してあるのだ  
ろうか。

松本教育政策課長      先生用のサーバーと児童用のサーバーがあり、先生方のサー  
バーは全て職員室に置いている。生徒用のサーバーは、以前パ  
ソコン室だったところに置いている。

丸山教育委員      ここで言われているのは、教師用のサーバーについての浸水  
対策ということだろうか。全ての学校が対象となっているのだ  
ろうか。

松本教育政策課長      職員室が1階にある学校が浸水の可能性が高いので、そこを  
対象としている。

丸山教育委員      計画では浸水想定区域内にある学校については、となっている  
が、1階に職員室のある全ての学校が対象ということによい  
か。

松本教育政策課長      1階に職員室のある学校を調べたところ、24校のうち浸水  
想定区域にない学校は6校だったので、18校のサーバーを2  
階以上の教室に置くことを検討しているが、現時点ではセキュ  
リティ対策の関係で対応ができていない。

丸山教育委員 大事なことだと思う。実績が0%のままではよろしくないの  
で、できる対策をしていくとよいのではないか。対策も見直され、ネットワークサーバーやクラウド環境への移行を進めていくとあるが、早期に対応できるのならばそれでよいと思う。現実的には、予算など厳しい部分もあるかと思うので、優先順位を付けてできる対策を取った方がよいのではないか。

松本教育政策課長 八代市はネットワークについては人吉市の会社と契約している  
ので、そこにデータセンターを置く、または市庁舎の6階に置くという考え方もあるので検討したい。生徒の通知表のデータなどはクラウド上にあるので保護されているが、先生方の教材の資料や先生方が作成された資料などのデータがサーバー上にある。それを先生方が自分のパソコンからクラウド上に保存するなど、できるところから対応していきたい。

早田教育委員 令和2年7月豪雨災害では大きな被害を受け、災害から4年経  
っても復旧、復興途中というところで、関係課におかれてはそれぞれの立場でいろいろな取組をされていると感じた。それぞれが進んでいると思うが、サーバーのクラウド化や体育館のエアコン設置、停電した際の発電機などの設置が進み、災害を考え対策が進められていると感じた。

成果指標の進捗状況について、昨年度もお伝えしたが、マイタイムラインの作成率100%とあるが、マイタイムラインを100%作成したからよいということではない。マイタイムラインは、自分の行動計画を立てることによって、災害時の備えを自宅で行ったか、警戒レベルの使い方が分かったかなどの手段であるので、これを目的としているのがあまりよくないと思う。マイタイムラインを作成したから命を守れるわけではない。成果指標としては、災害時の備えをしていると答えた人の割合がどのくらいだった、それが増えてきたなどにした方がよいと思う。

また、教訓の継承について、令和2年7月豪雨の教訓の継承として何か行われていることがあるのだろうか。

加賀学校教育課長 マイタイムラインについては、作成した後に活かせるかが一番  
大事なので、見直しをしながら、さらによりよい備えをしていく必要がある。作成にあたり、そのような意識を高めていきたい。指標については令和7年度以降に検討したい。

米崎文化振興課長 文化振興課では出前講座において、麦島城や八代城が地震で被災し復旧したことなど、災害の歴史を伝える取組を行っている。令和2年7月豪雨の教訓の継承についても、災害からの復旧というところでお伝えしている。令和2年7月豪雨に特化した取組は行っていないが、八代市の地域的な特徴を踏まえ、教訓を継承するということをテーマにお伝えしている。

早田教育委員 生涯学習課においても今後の課題と方向性で、防災情報のファイリングなどの市民への情報提供・節目ごとの展示など、災害の教訓の継承に努めるとあるが、具体的にどのようなことをされるのだろうか。

西村生涯学習課生涯学習推進係長 図書館において防災情報のファイリングをしているということだった。展示をする際に合わせて設置することはできると考える。

生涯学習課では、公民館講座で今年度「気象と防災」という連続の6回講座を開講した。先週水曜日に第1回目を行い、博物館の学芸員が令和2年7月豪雨の際の文化財の被災状況などの講義を行った。2回目以降、気象庁の方などさまざまな講師を迎え、全6回で行う予定である。

早田教育委員 教訓の継承をなぜ行うかということ、身近に起こったことの現状を知り、次に活かしていくということが大事であるからだと思う。人吉市では令和2年7月豪雨の記録検証誌という冊子を作成され、球磨村ではネット上でアーカイブ球磨村という令和2年7月豪雨の記録を公開しており、誰でも見ることができる形で、あの時町で何が起こったかというものを伝え、残されている。災害から4年が経ち、八代市でも災害の記憶や情報が薄くなってきている。教訓の継承をしっかり押さえておかないと、次起きたときの対応が同じことの繰り返しになってしまうと思うので、八代市であの時何が起こったかというのをしっかり残していただきたい。

渡邊教育委員 スクールバスの利用について、校区内外からバスで通学しているが、一番時間のかかる子でどのくらいの乗車時間だろうか。

松本教育政策課長 一番遠い子は古閑浜町から通学しており、乗車時間は40分である。

渡邊教育委員           この状況が何年も続いているが、長時間乗車している子供さんへの影響等の報告はないか。

松本教育政策課長       八竜小、坂本中のスクールバスについては報告はない。他のスクールバスについては、1年生が車酔いをしたなどの報告はある。

●基本方針11 家庭における教育力の向上

泉生涯学習課長       点検・評価票により成果指標の進捗状況等について説明  
高嶋教育サポート  
センター所長

渡邊教育委員           子ども支援相談室について概要を知りたい。相談者は保護者が多いのか。相談スタイルは対面と電話、どのくらいの割合だろうか。主な相談内容で最も多いのはどのような内容だろうか。

高嶋教育サポート  
センター所長           相談者は保護者が多い。たまに祖父母からの相談がある。相談スタイルは、電話が多い。最近はメールも増えてきた。対面は割合としては多くない。内容は、学校へ行きたがらないなどの不登校関係が多い。

渡邊教育委員           セーフティネットとして相談室があるのは、保護者にとって相談しやすく安心でき、解決につながると思う。解決につながったという事案はあるか。

高嶋教育サポート  
センター所長           保護者の思いを学校に言いにくい、学校とこじれてしまっているということがある。それを学校につなげ、登校につながったということはある。

中教育長                以上で全18の基本方針に関する点検・評価についての協議は終了するが、全体を振り返って、伝えておきたいことなどはないだろうか。

丸山教育委員           評価に関しては自己評価なので、それぞれの担当課の考えでの評価でよいのだが、全体としての評価基準はあるのだろうか。整合性が取れていないのではないかと思われる点が多々見受けられたので、評価の基準を示したうえで評価してあるのだろうか。

萩本教育政策課教 事務局から評価の基準は示してある。S・A・B・Cとあり、育政策係長 予定どおりのことができた場合がB、それを上回った場合はA、著しく上回った場合がSとなる。Cは予定どおりではなかった場合となる。

中教育長 Bは予定どおり、期待どおりだった場合であり、Aについては、予定よりも早い時期に達成できた、高い実績を出した場合となる。事業ごとに数値の指標がないものが多いので、主観で評価することがある。これについては、内部で確認したときにも意見が出たところである。

丸山教育委員 全体の調整をした方がよいと思う。また、Aと評価するのであれば、なぜAなのかが分かる書きぶりにした方がよいのではないか。ここが予定を上回ったとかできなかったということに記載するとよいと思う。

田中教育部長 事前にヒアリングを行っているが、今後は気を付けて基準付けをしたい。また、B以外の評価については、なぜその評価になったのかを記載できるように、次年度以降は検討したい。

〈秘密会〉

〈報告第15号〉 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

〈秘密会につき、会議内容は省略〉

6. 会議録署名委員 渡邊委員・澤村委員  
の指名

7. 閉会 (午後5時00分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

---

---

記録者

---